

OMC事務局 〒565 豊中市上新田 4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-833-9227
 広報編集局 〒573 枚方市三栗 1-18-20 前田 茂夫 TEL0720-50-5781

平成8年7月(1996年) No. 367

フェスティバル出品作品 の準備は進んでいますか

今年のフェスティバルまであと3ヶ月ちょっと。うかうかしていると、リミットタイムはすぐ過ぎてしまいます。去年の今頃はすでに半数の作品が確定し、残りの出品者も大体決まっていた。今年は開催日(10月18日金曜日)が確定している以外は未だにすべてが白紙です。8月例会が済めば、速やかにプログラムの編成に取り掛からねばなりません。

従来、OMCのフェスティバルは、それなりのレベルと内容で一定の観客動員をみてきました。ビデオになってしまった今日、観客の期待を裏切ったのでは動員数は先細りするばかりです。有村世話役がOMCニュース5月号で主張されているように、朝日生命ホールでのフェスティバルは今年が最後かも知れません。それは金銭的な面と、観客動員の面の両面があります。来年以降のことはこれからゆっくり話し合うとして、今年は朝日生命ホールでの開催です。さすがOMCとの意気込みを作品の上で見せようではありませんか。作品制作上での助言、手助け等遠慮なく申出て下さい。なお7月例会で、フェスティバルに出品予定の有無、または制作状況をお知らせ下さい。

7月例会のお知らせ

7月例会は27日(第4土曜日)18時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3F)にて。作品ご持参のうえ、多くの方のご参加をお願いします

6月例会のレポート

(今月の担当は関 剛氏)

6月例会は22日午後6時から阿倍野市民学習センター第2会議室で開催。この2ヶ月間は、講堂の控室のような部屋しかとれず、隣室の騒音に悩まされましたが、今月の第2会議室は例会に適した構造で、そのうえ静かであった。久しぶりに落ち着いた気分で例会を楽しみました。これに捌けない程の作品があれば何も言うことがありませんが、たったの5本。このところ毎月5～6本の低調な例会が続いています。フェスティバルも迫ってきました。鋭意作品作りの努力をお願いします。

◆先日の長良川撮影会の会計係をして頂いた江村さんから会計報告がありました。撮影会後の概算では余剰金が出たとのことになり、それを参加者全員に均等に返却しましたが、実は計算間違いで、結局2,097円の不足だったということです。撮影会参加者で6月例会に欠席された人は、7月例会で210円を江村さんにお返し下さい。

出席者11名(敬称略)有村、石垣、井田、今井、江村、岡本、上総、越本、関、花岡、森

◆作品と短評

1. 市民講座撮り歩き 9分 井田 元晴さん

NHKの坂本さんという方のご指導で、チンチン電車の上町線とその沿線を題材にした、東大阪市民センター主催のビデオ講座。指導にしたがって作品づくりを目指したのではなく、現地実習の模様を記録したものです。松虫駅で降りて聖天山から住吉神社まで、足で稼ぐ撮影行脚はさぞ勉強になったと思います。普通、ビデオ講座はどこでも3回に分けて実施しているようです。初回はカメラなどハード面の構造や使い方の説明。2回目は実際に屋外に出て、この作品のような撮影実習。そして3回目はさまざまな器材を使った編集講座。ところがお話しによると、編集に関するものは無かったとのこと、これは片手落ちです。撮影実習の後に編集も実施しないと完全な講座とは言えません。続きの講座が開かれるよう市民センターに申し入れるべきだと思います。

2. ワイキキ クルージング 6分 今井 羨美さん

ハワイ、ワイキキ浜から真珠湾のアリゾナ記念碑までを観光船上から撮られたものです。快晴のうえ空気が澄んでいるせいでしょうか、発色が抜群。記念館の望遠は多分デジタルズームの範囲に入ったのでしょうか、画質が荒れていました。

3. 長良川をゆく

はやばやと出ました撮影会作品。撮影順とは逆に鶴飼から始まり、長良

川の流れて沿って河口堰で完結しています。撮るべきものはきっちり撮ってあり、そつなく、しかも要領良く纏められた編集技はさすがです。しかし10分足らずの長さでは、この撮影会を企画された上総さんのコンセプションのすべてに応じるにはちょっと無理でした。

4. 赤い崖の島 9分30秒 上総修一郎さん
真っ青な海に真っ白な建物。点在する小さな教会。一日クルーズでは絶対に撮れない、これぞまさしくエーゲ海の風景。洗練された構図と独特の堅い口調ながら、ナレーションも丁寧で分り良かったと思います。BGMは2曲、ただし選曲は間違いでした。前の曲は越中五箇山の「麦や節」そっくりのリズム。後ろの曲もチャカチャカと大変忙しく、ともにこの映像に合っていません。

5. もうひとつの熱闘 13分 関 剛さん
夏の高校野球。グラウンドの熱戦にはカメラを向けず、アルプススタンドで応援する人々の悲喜こもごもの表情を、敢えて音楽やナレーションをつけずに現場音だけで追ったものです。ラストにスコアボードを1カット入れても良かったのでは、との意見もありました。

◆上六なにわ会館で行っていたときの開始時間は午後6時20分でした。市民学習センターに移って午後6時に改めましたが、前の習慣が抜けないのか、時間までに来られる方は少ないようです。月に一度の例会です。定時開始にご協力をお願いします。

◆故 増田氏がされていた会計係は当分の間、会長が代行

6月3日に急逝された増田氏は長年OMC会計を一手に引受けてこられました。この会計業務を引継ぐ必要から去る6月23日に合原会長と有村世話役が増田邸を訪問しました。故人の仏壇にお参りした後、奥さんのすみえさんから、関係書類を見せてもらいましたが、台帳の記入がなされていませんでしたので、領収書、会費納入控などをもとに収支を調べて現状把握をいたしました。これを機会に台帳をおこし収支の明確化をしていきますが、当分の間合原会長が会計担当も兼務されます。現在運営資金として12万円少々がありますので、予定通り下期の会費は2,000円(年12,000円)で十分まかなえると考えられます。会員数があと若干名増えれば年1万円以下も可能となります。これも会場費が大幅に安くなったおかげです。

◆旧8ミリ機材は増田邸に預かってもらっていましたが、これも山形さんのご厚意で山形邸に預かってもらうことにまりました。何かの折に8ミリフィルム上映の必要性が生じた場合は、機材の面で道が残されたわけです。

★小倉宝蔵氏追悼映写会の反響

小倉宝蔵追悼映写会は去る4月19日夜、朝日生命ホールで行われ、まずまずの盛会でほっとしましたが、東京からわざわざかけつけて下さった東京アマチュア映像連盟会長の川上勝晤氏が、自らのクラブ会報「東京映像」で次のような一文を寄せて当夜のことを紹介されています。

故小倉宝蔵氏追悼映画作品

川上勝晤

OMC会長・関西シネクラブ会長であった小倉宝蔵さんが昨秋10月27日逝去された。両クラブ合同で公開映写会が催された朝日生命ホールに、癌で入院中の病院から車椅子で残りの力を振り絞っての参加は、正に壮絶な姿であり、それから僅か1週間て計報に接した合原さん(現OMC会長)達は信じられない気持ちだったという。

4月19日夜、ゆかりの深い朝日生命ホールで、故小倉宝蔵追悼映写会が開催されるに当たり、いつも東京映像や東京アマチュア映像祭には心温まる祝電を欠かさず送って頂いていた故人を偲ぶため、私も深夜便のトンボ帰りながら映写会上に版した。

会場は、故人を偲ぶ大勢の方々が見え、私も面識のある20名前後の方と歓談でき、ひとときの追悼外交を果たし得たが、小倉宝蔵氏の人となりを変えて知ることができた。

小倉氏は大のコンテスト嫌いのため、私達東京地方の人で作品を拝見した人はなく、それだけに映写された作品群に圧倒され、是非東京の人達に観て貰いたいと、世話人代表の関剛さんと合原さんの肝入りで東京映像とぐる一ぶこんで拝見することにした。

コンテストに出品しない作家のコンテストを超えた心意気と、映像にかける執念に感動を覚えながら、4本の作品を追悼鑑賞することとし、期待を乞う次第である。

5月例会報告

今月は、先月のレポートで会長が紹介された、大阪の故小倉宝蔵氏のお作品4本を参考作品として、例会作品上映の前に拝見した。

上 映 作 品

〔参考作品〕

小倉宝蔵氏は学校の先生であったこともあり、作品の傾向は公害に取り組むという社会派作風であったようだ。

1. 海に挑む 8ミリ作品 SiCT 12分
1969年12月作(処女作品)。

4分割のタイトルに意欲的な方と想像出来る。内容は、海鼠(なまこ)漁の厳しさを撮影されたもの。朝の海一日の出一朝日を浴びる漁船群一浜で海女が準備一出漁一沢山の漁船が並んで漁場へ向かう一目的地に着き愈々海に潜る一海鼠が次々と採られて来る(海女が海面に現れるカットがアップで続く)一波が少し高くなったが漁は続く一やがて漁を終え船に上がった海女達の顔は労働の厳しさがにじむ一船中で海鼠を選別する海女の作業でラスト。とても処女作とは思えないカメラワークであった。

2. 華麗な遺跡 8ミリ作品 SuCT 12分

1989年作。海外紀行作品(舞台はジャワ島のポロブドール)。前半は市場の風景をバックにしてインドネシアの宗教の歴史が語られる(現在人口の90%はイスラム教徒だが、8~9世紀頃は仏教・ヒンズー教が普及しており、その遺跡が残っている)。ガメラン音楽演奏一ジャワ更紗一影絵芝居用の人形とその演技も紹介される。

後半は、150年前に発掘されたという大理石で作られた仏教遺跡ポロブドールが紹介される。ドーム状の柱のない建物には、仏典を具象化した彫刻が壁面に見られる。ストーバ(塔)の群立等、これが8~9世紀に作られた物かと目を眩るものがある。

3. 太古の大地 ビデオ作品 S-VHS 19分

8ミリ制作からビデオ制作に替っての作品。オーストラリアのノーザンテリトリーでの野生動物と自然の景観が豊富に見られる。(以下略)